

# 日野市議会会議録

平成5年第1回臨時会

第15号

8月2日開会

8月2日閉会

日野市議会

日野市立図書館 81-7354



1883047

平成 5 年 第 1 回 臨 時 会 日 程

8 月 2 日 (月曜日) 会議録署名議員の指名、  
会期の決定、議案上程



平成 5 年  
第 1 回臨時会 日野市議会会議録目次

○ 8 月 2 日 月曜日 (第 1 日)

出席議員	.....	1
欠席議員	.....	1
出席説明員	.....	2
議事日程	.....	2
開 会	.....	5
会議録署名議員の指名	.....	5
会期の決定	.....	5

(議案上程)

議案 第 54 号	日野市公共下水道浅川右岸第四処理分区 (5-2)	
	工事請負契約の締結について .....	5
議案 第 55 号	日野市公共下水道浅川右岸第五処理分区 (5-2)	
	工事請負契約の締結について .....	13

午後 0 時 0 分 休息後、再開に至らず閉会	.....	14
-------------------------	-------	----



8月2日 月曜日 (第1日)

平成5年  
第1回臨時会 日野市議会会議録 (第15号)

8月2日 月曜日 (第1日)

出席議員 (27名)

1番	沢田研二君	2番	執印真智子君
3番	田原茂君	4番	藤林理一郎君
5番	笹野行雄君	6番	谷長一君
8番	下村功君	9番	佐藤洋二君
10番	一ノ瀬隆君	11番	内田勲君
12番	宮沢清子君	13番	馬場繁夫君
16番	小川友一君	17番	土方尚功君
18番	福島敏雄君	19番	板垣正男君
20番	鈴木美奈子君	21番	奥住日出男君
22番	夏井明男君	23番	黒川重憲君
24番	天野輝男君	25番	福島盛之助君
26番	小山良悟君	27番	市川資信君
28番	名古屋史郎君	29番	竹ノ上武俊君
30番	米沢照男君		

欠席議員 (1名)

14番 高橋徳次君

欠員

7番 15番

説明のため会議に出席した者の職氏名

市長	森田喜美男君	助役	砂川雄一君
助役	前田雅夫君	企画財政部長	長谷川暢男君
総務部長	小林修君	市民部長	永瀬誠一君
生活文化部長	藤本享一君	環境部長	山口正夫君
都市整備部長	鈴木栄弘君	建設部長	小俣雅義君
福祉部長	坂口泰雄君	水道部長	日野義人君
病院事務長	須藤雄示君	教育長	長沢三郎君
学校教育部長	糸川滋君	社会教育部長	大谷俊夫君

会議に出席した議会事務局職員の職氏名

局長	落合豊君	次長	田中正美君
書記	濃沼哲夫君	書記	小林章雄君
書記	橋達雄君	書記	山田二郎君
書記	田倉芳夫君	書記	鈴木俊之君

速記委託先 住所 東京都立川市曙町一丁目10の3

立川速記者養成所 所長 関根福次

速記者 本間ムツ子君

議事日程

平成5年8月2日(月)

午前10時開会

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 会期の決定

(議案上程)

日程第 3 議案 第54号 日野市公共下水道浅川右岸第四処理分区(5-2)  
工事請負契約の締結について

日程第 4 議案 第55号 日野市公共下水道浅川右岸第五処理分区(5-2)  
工事請負契約の締結について

日程第 5 議案 第 56 号

日野市助役の選任について

日程第 6 議案 第 57 号

日野市収入役の選任について

本日の会議に付した事件

日程第 1 から第 4 まで



午前11時28分 開会

○議長（黒川重憲君） これより平成5年第1回日野市議会臨時会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

ただいまの出席議員27名であります。

次に日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員については、会議規則第81条の規定により、議長において

10番 一ノ瀬 隆君

11番 内 田 勲君

を指名いたします。

次に日程第2、会期の決定の件を議題といたします。

議会運営委員長の報告を求めます。

〔議会運営委員長 登壇〕

○議会運営委員長（土方尚功君） 議会運営委員会の報告を行います。

本日、議会運営委員会を開催をいたしまして、会期の件につきましては、本日一日と決定をいたしました。

議案上程その他については、お手元に配付した資料のとおりであります。よろしく御審議のほどお願いいたします。

以上です。

○議長（黒川重憲君） お諮りいたします。ただいまの議会運営委員長の報告のとおり会期を決定するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（黒川重憲君） 御異議ないものと認めます。よって会期は、本日一日と決定いたしました。

これより議案第54号、日野市公共下水道浅川右岸第四処理分区（5-2）工事請負契約の締結の件を議題といたします。

理事者から提案理由の説明を求めます。市長。

〔市長 登壇〕

○市長（森田喜美男君） 本日、臨時議会をお願いいたしますので、よろしくお願いいたします。

議案第54号、日野市公共下水道浅川右岸第四処理分区（5-2）工事請負契約の締結について、提案理由を申し上げます。

本議案は、日野市公共下水道浅川右岸第四処理分区（５－２）工事の請負契約を締結するもので、地方自治法第96条第1項第5号の規定及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第2条の規定により、提案するものであります。

入札の結果、1億4,111万円で、竹花工業株式会社が落札いたしました。

詳細につきましては担当部長に説明いたさせますので、よろしく御審議のほどお願いいたします。

○議長（黒川重憲君） 関係部長から詳細説明を求めます。総務部長。

○総務部長（小林 修君） 御説明申し上げます。

議案第54号、日野市公共下水道浅川右岸第四処理分区（５－２）工事請負契約の締結について御説明いたします。

契約金額は、1億4,111万円でございます。契約の方法は、指名競争入札でございます。工期は、契約の翌日から平成6年3月17日まででございます。契約の相手方でございますが、長野県小諸市南町二丁目6番10号、竹花工業株式会社、代表取締役山浦和人でございます。

恐れ入ります。2ページ、3ページをお願いいたします。

入札の経過でございますが、現場説明を7月5日に行いました。そして、入札を7月19日に執行いたしました。入札の結果、竹花工業株式会社が1億3,700万円で落札いたしました。

3ページ、工事の概要でございます。管布設工、250ミリ。延長としまして、1,372.5メートル。開削でございます。マンホール設置工、53カ所でございます。

工事の位置でございますが、下段の図のとおりでございます。よろしく御審議のほどお願いいたします。

以上です。

○議長（黒川重憲君） これより質疑に入ります。内田 勲君。

○11番（内田 勲君） 何件かお伺いいたします。

最近の新聞あるいはテレビ等で、県レベルあるいは市町村レベルにおきまして、行政と業者との間にいろんな問題が取りざたされておりますけれども、我が日野市においてこのような問題は絶対あってはならないと、このように思っているわけでございますが、そんな角度から、日野市について、ちょっと内情についてお伺いしたいと思います。

2点ほどとりあえずお伺いします。1点目は、入札業者の選考の根拠ですね。数ある業者の中からどのようにしてこの10業者が選考されたのか。

2点目につきましては、この金額を見ても、非常にばらつきが少ないわけですが、この入札をお願いするときに、業者にどのような情報を出しているのか。まずその2点についてお伺いしたいと思います。

○議長（黒川重憲君） 総務部長。

○総務部長（小林 修君） お答えいたします。

日野市における契約の事務の手続関係でございますが、物品借り入れ等の指名競争入札の参加資格は、期日を決めて参加資格を登録してもらいます。例えば、平成5年度、6年度関係でございますけれども、物品の参加資格者は、1,382社でございます。それから工事関係は1,972社が日野市に参加登録している現状でございます。そういう中で業者を日野市契約事務規則に基づきまして、指名競争入札が主流でございますけれども、金額をもってランクを分けて、それにより、例えば5,000万以上であれば10社を選定する、200万円以下になったら3社の業者を指名する、ということになっております。そして、この中で1,000万円以上の業者の選定に当たりましては、日野市の指名業者の選定委員会がございまして、それに基づいて選定しているのが現状でございます。

以上、簡単ですけど、日野市の契約についての業者との手続関係はこのような形で進めているということでございますが、ただ、入札の情報については、私の方では、別に業者に、ただ現場説明とか指名をいたしました。それから、いついつに現場説明をいたします。そして入札をいついつにします、というぐらいの情報を出して、それで、それ以外の情報は一切出してないのが現状でございます。

以上です。

○議長（黒川重憲君） 内田 勲君。

○11番（内田 勲君） それでは、再度質問させていただきます。

選定委員会で業者を選定するというところでございますけれども、まず、この選定委員会のメンバーと、それから選定委員会を開いたときに、この千何社もある中で、10社に絞るときの、選定委員会はどのようにして、その何人かいる委員がそれぞれ10件持ち寄ってくるのか、あるいはだれかが案をつくって、それについて検討するのかどうか、それをもう少し詳しく、だれが一番権限を持って決めているのか、それがクリアになるようにお聞きしたいと思います。

○議長（黒川重憲君） 総務部長。

○総務部長（小林 修君） お答えいたします。

日野市には、先ほど申しましたように、日野市指名業者選定委員会規則がございまして、

構成メンバーでございますが、委員長は総務担当の助役でございます。名前を言いますと、砂川助役でございます。それから委員としては、前田助役、それから総務部長、それから検査担当の参事、それから工事担当部課長、それから工事依頼事務事業部の部課長で構成されております。

それで2点目でございますけれども、業者を例えばAランクと仮にしまして、10社を選ぶという場合は、先ほどありましたような参加資格登録の中で、その金額の工事にたえられる規模の、またそれから実績が日野にあるかということ踏まえながら、総務部の管財課の方で20社なり、倍ぐらいの業者を一応リストアップしまして、それに基づきまして、今申し上げました委員が実績とか、それから業者の情報等を得た中で、適当な業者10社を選定するというような手続をやっているところでございます。

以上です。

○議長（黒川重憲君） 内田 勲君。

○11番（内田 勲君） 管財課の方で案をつくるということでございますが、その20社の業者が出てきたときに、委員会で検討するときに、どのような資料を出しているのか。今、部長の方からですと、日野での実績であるとか、いろんなこと言われましたけれども、そういうものを書類でもって各委員に出されるのかどうか。要するに委員が十分検討できるだけの情報が与えられているかどうか。これについて、もし資料がありましたら、その内容と、できればその資料をいただきたいんですけど、いかがでしょう。

○議長（黒川重憲君） 総務部長。

○総務部長（小林 修君） 例えば、指名委員会は、先ほど申しましたように、1,000万以上の業者が出た場合、契約が、請負が出た場合に、開くわけでございまして、毎週のように、週に1回ぐらいは指名委員会を開いているようなのが現状でございます。そこには、今申し出がありましたけれども、業者名が具体的に書いてありますし、また備考欄等には、日野市の実績とか、それから重複しないような形のメモを入れたものを各委員さんにその場でお配りして、それを見ながら、各委員が合意でやっているのが現状でございまして、今業者が具体的に出てくるそういう資料は、ちょっとお渡しするわけにはいかないだろうと、私は考えております。

以上です。

○議長（黒川重憲君） 内田 勲君。

○11番（内田 勲君） それでは、その検討する中で、特に資料はないようでございますけれども、管財課で検討するときに、管財課の中では、何名ぐらいで検討しているん

でしょうか。その検討した場合の理由等は、少なくとも資料で出ると思うんですが、いかがでしょうか。

○議長（黒川重憲君） 総務部長。

○総務部長（小林 修君） 管財課では、管財課長、それから契約係長、担当官の3人が、さっき申しました工事の場合は、1,972社ございます。それで、いろいろランクがございましてですね。その会社の規模に応じてどのくらいの工事ができると。その中から、さきに指名しているとか、そういうものを抜いた中で、この工事に適当だろうというのを管財課の課長以下が資料として決めて、それに基づいて選定委員会に出しているのが現状でございます。そのような事務的な手続のことは、後ほど部署ではあれですけど、ちょっと担当課に聞いてみないとわかりませんけれど、できるだけわかりやすいものを、理解を得るためにお渡ししてもいいんじゃないかと、私自身は考えております。

以上です。

○議長（黒川重憲君） 内田 勲君。

○11番（内田 勲君） それでは、今業者の選定の過程についてはいろいろお伺いしましたけれども、本日のところはその程度に、その点についてはとどめておきたいと思えます。また後ほど、今私も調査中でございますので、もう少し時間がたちましたら聞きしたいというふうに思っております。

次に、出てくる金額、毎回私、不思議に思っているんですが、今回のこの右岸第四処理分区の工事についても、10社の金額を見ますと、平均が1億3,816万円。これに対して、多い所がマイナス124万、それから少ない所が216万ということで、いずれにしても1%前後の差なんですね。本当にこんなに幅狭く出せるものなのかどうか。先ほど、この工事するとき、どのような業者に対して情報を与えるのかといったとき、ほとんど出してないということだったので、そういう中で、こんな数字が出るものか、それぞれの企業は力が違いますから、同じ工事するんでも、例えば材料にしても、大きな工事をたくさんやっている所は仕入れも多いわけですから、材料も安く手に入るでしょうし、それからその場で働いている方々の賃金もそれぞれ違うわけですから、コストが違うわけでございますね。したがって、もう少しばらついていいんじゃないかと。要するに、その企業、企業の方で計算した場合には、当然もっとばらついて、そこにある企業の考え方が入ってきて、極端なことを言えば、今回は十分利益も考えて、入札してみよう。それでとれなければしょうがないと。あるときには、どうしてもこの工事は、今後のことを考えてとりたいということであれば、この工事は赤字であってもとり

たいとか、そういう企業、企業の考えがあると思うんですね。そういう中で出してきましたから、当然もっとばらついてもいいんじゃないかと思うんですが、それがこのように、私としては非常にばらつきがないというふうに見ているんですが、これについて市長はどのように感じているのか、お聞きしたいと思います。

○議長（黒川重憲君）　　市長。

○市長（森田喜美男君）　　御質問の趣旨は、近ごろ、自治体の長、いわゆる責任者がかかわった金権腐敗、汚職、こういう状況が国民の政治不信をつくり出しておる。こういう背景のもとで、我々自治体の物品の購入、あるいは工事の発注等はどうなっているかという関心が寄せられるのは、極めてありがたいことだと思っております。原則的に申しまして、地方自治法の言葉を用いるまでもなく、最少の経費で最大の効果を生み出すように努力をするということが、物品調達、あるいは工事発注の原則であります。それから、落札業者の決定までの経路が極めて明朗であるということ、このことが大切だということは、言うまでもありません。したがって、各自治体とも一定の原則に従って、競争入札の形をとる。競争入札も、一般競争入札がいいことは言うまでもないわけですが、なかなかその範囲を特定することが難しい作業もございますので、指名競争入札という形をとっている。そして、指名競争入札は今申しましたように、一定の基準、規則等によりまして、庁内に業者選定委員会、これが設けられ、毎年行っておりますいわゆる指名競争入札参加願いの資料に基づいて、能力、あるいは経歴等のまた資料も勘案をして選出をされる、こういう経路であります。

私は、言うまでもないことではありますが、日野市の物品購入、あるいは工事の発注等が疑惑の持たれない、最も明朗な状況の中で行われるということこそ、清潔なる市政の原則でなければならないということ、強く意識しております。予算をつくる際に、それぞれの主管担当で積算を行います。その積算の単価表は、これは国から示され、あるいは東京都が採用する資料に準拠しておるということでありまして、指名の範囲が決まりましたところで、いわゆる管財課の仕事として、予算を執行する担当部署の現場説明というのをを行うわけでありまして、その現場説明に基づいて、多分、10日後程度の期間を置いて入札を執行すると。これが、契約あるいは落札の執行の手順である、というふうに承知しております。

御指摘の、最低価格者が、最低価格を入れた人が入札の該当者になるということは当たり前、当然のことでございますが、個々の例によりまして、いわゆるもう一方で懸念を——懸念というよりも、正しいことを求めるために談合を認めない。これは多分、法

律に基づいた原則があるというふうに承知をしております。我々の市で行いました過去の入札手続等について、そのような疑義が何らかの形で持ち出されたということは、ございません。そうしてまた、その積算の価格が、極めて類似して近い。これは考えようによりましては、まじめな積算の行われた理由ということにもなるわけでありましょうし、そういうふうに解釈をするのが妥当ではなかろうか、こんなふうに思っております。時々、思いがけない差の出る入札の事例もございしますので、その際には、むしろ内部で、何か積算に不適切がなかったかどうか、このようなことも検討させるというふうにいたしております。ですから、御質問の積算の差が余りにも少ないのは、談合の結果ではないかという見方もありますし、談合は法律に基づいてフェアな競争ではございませんから、当然、罰則を伴うわけでありまして、我々はこの点も十分意を払って、一つひとつの入札事業の公正妥当を期してまいったというふうに考えております。

以上、経過はそういう次第でございしますので、よろしく願いいたします。

○議長（黒川重憲君） 内田 勲君。

○11番（内田 勲君） 市長にお伺いしたのは、この金額を見てどう感じるかということをお聞きしたんですが、私は談合なんていう言葉を一言も使ってませんけれども、談合という見方もできるんですか。それもお聞きしたいと思います。

○議長（黒川重憲君） 市長。

○市長（森田喜美男君） 談合という見方は、我々は全く意識しておりません。

○議長（黒川重憲君） 内田 勲君。

○11番（内田 勲君） 先ほど市長が、談合という見方もできるが、と言ったのは、市長がということじゃないんですね。人によっては、この金額を見たときに、談合しているんじゃないかと疑う見方もあるかもしれないということでしょうか。

○議長（黒川重憲君） 市長。

○市長（森田喜美男君） 十分配慮——配慮といいますか、目を配っておるということでもあります。

○議長（黒川重憲君） 内田 勲君。

○11番（内田 勲君） 今、積算書を出していただいているということですが、総務部長、お伺いしますが、先ほど総務部長の方からは、現場説明はするけれども、特に細かい指示はしてないということですが、その市の方から出している情報に対して、その積算書の内容がこのようにばらつきの少ない中でも、余り不思議はないものでしょうか。

○議長（黒川重憲君） 総務部長。

○総務部長（小林 修君） 先ほど申しました、数字的なものは、参考になるような形は出していません。ちょっと申し落としまして申しわけないんですけど、現説のときに、その工事の図面とか、設計図、それから仕様書、こういうものが必ず必要ですよというものは、各業者にお配りして、そして現場を見て、そしてこのぐらいならこのぐらいな金額になるというのを、あらかじめ現場を見ながら、そういう書類と一緒に業者の方を見て、今市長がおっしゃいました、それに基づいて2週間後には落札にするというやり方をとっているわけでございます。

以上です。

○議長（黒川重憲君） 内田 勲君。

○11番（内田 勲君） それでは最後に、この選考委員会の委員長であります砂川助役に、一言この案件について感想をお願いしたいと思います。

○議長（黒川重憲君） 砂川助役。

○助役（砂川雄一君） 感想ということでございますが、私たち契約に関しましては、公正を期して進めてまいったつもりでございます。今までもそういう形で各業者も公正な競争に基づいてそれぞれ事業を担当していただいているというふうに私ども考えております。

ただ、世間一般に、いろんなことが今新聞でも紙上をにぎわしておりますが、そういった問題については、これは国でも、いろいろそういったものを防止するための検討策というの今検討されているというふうに私どもも聞いておりますので、そういったところが決まれば我々も、現在の制度について手直しが必要であるということになれば、それはそれとして今後我々としても、検討をしていく必要があるだろうというふうには考えています。

以上です。（「結構です」と呼ぶ者あり）

○議長（黒川重憲君） これをもって質疑を終結いたします。

お諮りいたします。ただいま議題となっております本件については、委員会付託を省略したいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（黒川重憲君） 御異議ないものと認めます。よって本件については、委員会付託を省略することに決しました。

本件について御意見があれば承ります。なければこれをもって意見を終結いたします。これより本件について採決をいたします。本件は原案のとおり決するに御異議ありま

せんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（黒川重憲君） 御異議ないものと認めます。よって議案第54号、日野市公共下水道浅川右岸第四処理分区（5-2）工事請負契約の締結の件は原案のとおり可決されました。

これより議案第55号、日野市公共下水道浅川右岸第五処理分区（5-2）工事請負契約の締結の件を議題といたします。

理事者から提案理由の説明を求めます。市長。

○市長（森田喜美男君） 議案第55号、日野市公共下水道浅川右岸第五処理分区（5-2）工事請負契約の締結について、提案理由を申し上げます。

本議案は、日野市公共下水道浅川右岸第五処理分区（5-2）工事の請負契約を締結するもので、地方自治法第96条第1項第5号の規定及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第2条の規定により提案するものであります。

入札の結果、1億3,184万円で、株式会社日野大野が落札いたしました。

詳細につきましては担当部長に説明いたさせますので、よろしく御審議のほどお願いいたします。

○議長（黒川重憲君） 関係部長から詳細説明を求めます。総務部長。

○総務部長（小林 修君） 議案第55号、日野市公共下水道浅川右岸第五処理分区（5-2）工事請負契約の締結について御説明申し上げます。

契約金額は、1億3,184万円でございます。契約方法は、指名競争入札でございます。工期は、契約の翌日から平成6年3月17日まででございます。契約の相手方でございますが、日野市日野本町四丁目11番地の3、株式会社日野大野、代表取締役大野和久でございます。

2ページ、3ページをお願いいたします。

入札の経過でございますが、現場説明を7月5日に行いまして、入札を7月19日に執行いたしました。入札の結果、株式会社日野大野が、1億2,800万円で落札いたしました。なお、この業者の中に、9番の松井建設株式会社が入札辞退と記してございますけれども、これは入札当日、自動車事故によりまして、指定時刻までに間に合わなかったものですから、会社の方から入札辞退を申し出たものでございます。

3ページ、工事の概要でございます。管布設工、250ミリ。延長、1,009.4メートル。これは開削でございます。250ミリ、延長27.8メートル。これは推進でございます。マ

ソホール設置工、52カ所でございます。

工事の位置でございますが、下段の図のとおりでございます。よろしく御審議のほどお願いいたします。

以上です。

○議長（黒川重憲君） これより質疑に入ります。なければこれをもって質疑を終結いたします。

お諮りいたします。ただいま議題となっております本件については、委員会付託を省略いたしたいと思っておりますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（黒川重憲君） 御異議ないものと認めます。よって本件については、委員会付託を省略することに決しました。

本件について御意見があれば承ります。なければこれをもって意見を終結いたします。

これより本件について採決いたします。本件は原案のとおり決するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（黒川重憲君） 御異議ないものと認めます。よって議案第55号、日野市公共下水道浅川右岸第五処理分区（5－2）工事請負契約の締結の件は原案のとおり可決されました。

お諮りいたします。議事の都合により暫時休憩いたしたいと思っておりますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（黒川重憲君） 御異議ないものと認めます。よって暫時休憩いたします。

午後0時0分 休憩  
後、再開に至らず閉会

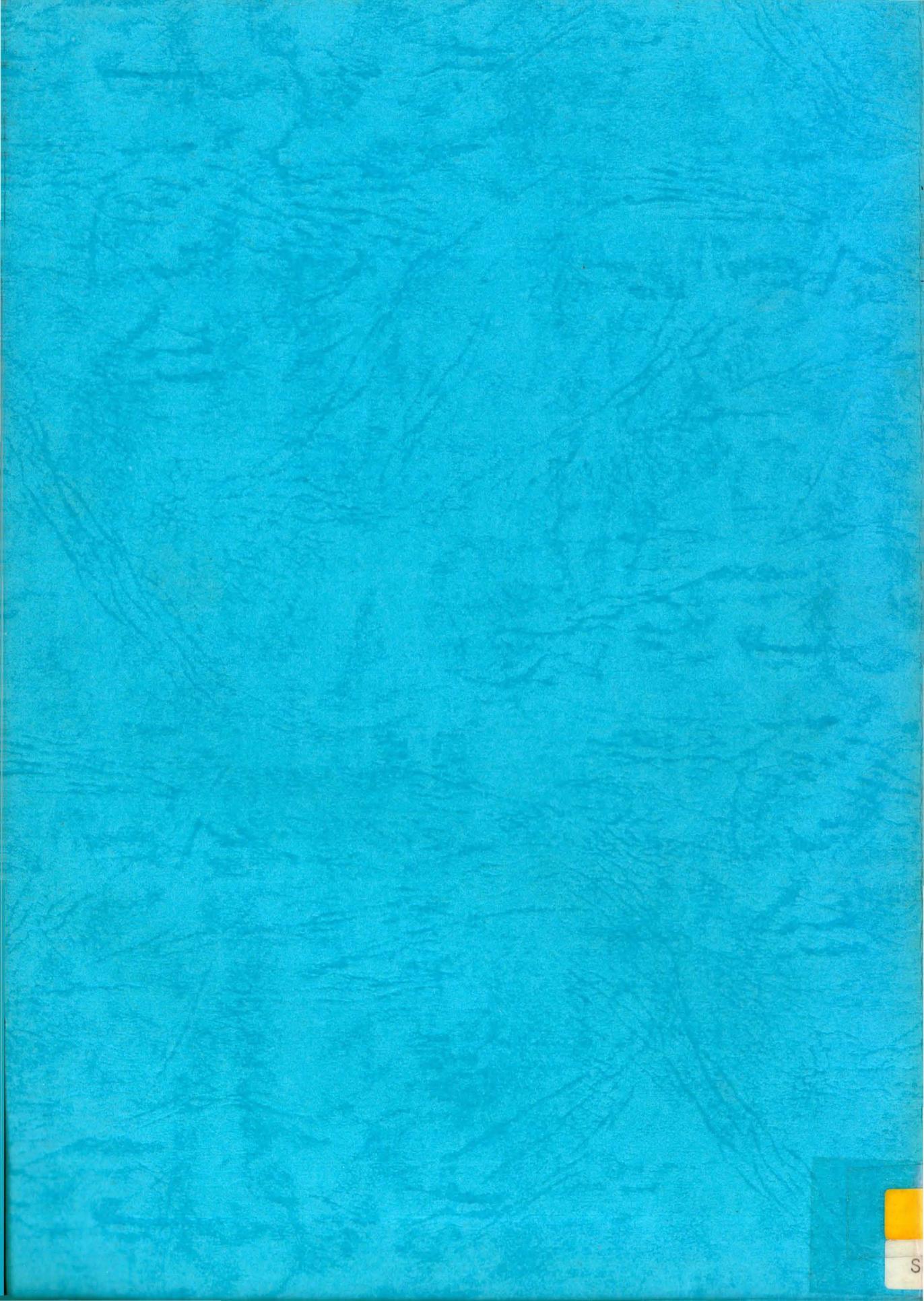
地方自治法第123条第2項及び日野市議会会議規則第81条の規定により署名する。

日野市議会議長 黒 川 重 憲

署名議員 一 ノ 瀬 隆

署名議員 内 田 勲





S